

【指導のねらい】

- ★大陸と大洋の名称と位置を理解させる。
- ★さまざまな地図の特徴を理解させる。
- ★国境の決まり方、世界の地域区分を理解させる。

学 習 内 容	補足知識・留意事項など
<p>1 地球の姿⇒演習 1</p> <p>(1) 地球</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋は約7割，陸地は約3割 ・三大洋…太平洋，大西洋，インド洋 ・六大陸…ユーラシア大陸，アフリカ大陸，北アメリカ大陸，南アメリカ大陸，南極大陸，オーストラリア大陸 <p>(2) 緯度・経度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度…赤道を0度として南北にそれぞれ90度 ・経度…北極と南極を結ぶ線。本初子午線を0度として東西にそれぞれ180度 <p>(3) 地図の見方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球の一部を平面に表したもの ・方位…通常，上が北 ・中心からの距離と方位が正しい地図…航空図 ・緯線と経線が直角に交わった地図…高緯度ほど面積拡大，航海図 ・面積の正しい地図…分布図 <p>2 世界の国々⇒演習 2</p> <p>(1) 世界の国…190余りの国</p> <p>(2) 国境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国と国の境界 ・自然物(山脈や河川)を利用 ・経線や緯線を利用 アフリカ大陸の国々に多い…植民地時代に勝手に引かれた <p>(3) 世界の地域区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つの州 ●アジア …東アジア(日本，中国など)，東南アジア(タイ，マレーシアなど)，中央アジア(カザフスタンなど)，南アジア(インドなど)，西アジア(サウジアラビアなど) ●ヨーロッパ…イギリス，フランス，ドイツなど ●アフリカ…エジプト，ガーナなど ●北アメリカ…アメリカ合衆国，カナダなど ●南アメリカ…ブラジル，アルゼンチンなど ●オセアニア…オーストラリア，ニュージーランドなど ・2つの州にまたがる国 …ロシア連邦とトルコはアジアとヨーロッパにまたがる <p>(4) さまざまな国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積 <ul style="list-style-type: none"> ●大きい国…①ロシア連邦 ②カナダ ③アメリカ ●小さい国…①バチカン市国(イタリアのローマ市内) ・人口の多い国…①中国 ②インド ③アメリカ ・距離 <ul style="list-style-type: none"> ●日本から近い国…中国，韓国，北朝鮮，ロシア連邦など ●日本から遠い国…ブラジル，アルゼンチンなど ・内陸国(海に面していない)…モンゴル，スイスなど ・海洋国(海に囲まれている)…日本，ニュージーランド 	<p>1 地球の姿</p> <p>(1) 地球</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太平洋，大西洋，インド洋で世界の海洋面積の約90%をしめる。 ・最も面積の大きいユーラシア大陸は，ウラル山脈を境に西側をヨーロッパ大陸，東側をアジア大陸とよぶことがある。 <p>(2) 緯度・経度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤道がどこを通るのかを確認する。アフリカではギニア湾，アジアではインドネシア，南アメリカではエクアドル(国名はスペイン語で「赤道」という意味)・ブラジルのアマゾン川河口付近を通る。 ・経線は，イギリスのロンドン郊外にある旧グリニッジ天文台を通る本初子午線を0度としている。1884年にアメリカのワシントンで開かれた国際子午線会議において，グリニッジ天文台を通る経線を0度とすることが決められた。 <p>(3) 地図の見方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯線と経線が直角に交わった地図では，赤道から北極や南極に近づくほど，実際よりも面積や距離が拡大して表される。そのため，緯線と経線が直角に交わった地図では，実際にはオーストラリア大陸より小さいグリーンランドが大きく表されてしまう。 ・中心からの距離と方位が正しい地図では，中心の地点と任意の地点を直線で結ぶと，2地点間の最短距離と中心から見た正しい方位がわかる。 <p>2 世界の国々</p> <p>(2) 国境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ諸国は，1960年代以降に独立を果たした国が多く，特に17か国が独立した1960年は「アフリカの年」といわれる。15世紀末以降，ヨーロッパ諸国がアジア航路を開拓したのをきっかけに，アフリカを植民地支配するようになり，19世紀末にはほとんどの地域がヨーロッパ諸国の植民地となった。その際に，民族の分布などとは関係なく，経線や緯線に沿って境界を引いたことから現在もアフリカには直線の国境をもつ国が多い。 <p>(4) さまざまな国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の大きい国…日本の面積は約38万km² <ul style="list-style-type: none"> ①ロシア連邦は日本の約45倍(約1710万km²) ②カナダは日本の約26倍(約999万km²) ③アメリカは日本の約25倍(約963万km²) ・面積の小さい国 …バチカン市国は，イタリアのローマにある独立国で，ローマ・カトリック教会の総本山サン・ピエトロ寺院がある。元首はローマ法王。 ・人口の多い国 …中国では，人口増加を抑制するために「一人っ子政策」が行われた。

【指導のねらい】

- ★さまざまな気候の特色を理解させる。
- ★さまざまな環境でくらす人々のくらしを理解させる。
- ★世界の宗教について理解させる。

学 習 内 容	補足知識・留意事項など
<p>1 人々の生活と環境⇒演習 1</p> <p>(1) 寒帯の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南極・グリーンランド…1年じゅう雪と氷におおわれる ・北極海沿岸…短い夏にこけが育つツンドラが広がる ・イヌイット…夏はカリブーの狩り, 冬は雪を固めたイグルーに住みあざらしの狩り→定住化, 移手段の変化 <p>(2) 冷帯(亜寒帯)の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏と冬の気温の差が大。シベリアには針葉樹の森林タイガ ・高床の住居, 二重の窓, <p>(3) 温帯の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季の変化がはっきりしている ・温帯の三つの気候 <ul style="list-style-type: none"> ●温帯(温暖)湿潤気候…季節風(モンスーン)の影響 ●西岸海洋性気候…偏西風の影響 ●地中海性気候…夏は乾燥, 冬に降雨 夏は乾燥に強いオリーブなどを栽培 <p>(4) 熱帯の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年じゅう気温が高い。 ・赤道付近…一年じゅう雨が多く熱帯雨林が広がる ・熱帯雨林が広がる地域のまわり …雨季と乾季があり草原(サバナ)が広がる <p>(5) 乾燥帯の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さばく…一年を通してほとんど雨が降らない ・ステップ…少量の雨が降る地域に見られる草原 ・人々のくらし <ul style="list-style-type: none"> ●オアシス…乾燥に強い作物の栽培 ●遊牧…家畜のえさを求めて移動 ●焼畑農業…木を焼き払って, その灰を肥料とする <p>(6) 高地の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標高によって気候が異なる ●標高 2000～3000m…とうもろこしの栽培 ●標高 3000m～じゃがいもの栽培 ●標高 4000m～リヤマやアルパカの放牧 <p>2 人々の生活と宗教⇒演習 2</p> <p>(1) 世界の三大宗教</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教…アジアなど。釈迦が開く。教典は経 ・キリスト教…ヨーロッパ, 南北アメリカ, オセアニアなど イエス=キリストが開く。教典は聖書 ・イスラム教…西アジア, 北アフリカなど。ムハンマドが開く 教典はコーラン 断食, 豚肉を食べない <p>(2) その他の宗教</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユダヤ教…イスラエルなど ・ヒンドゥー教…インドの民族宗教 牛は神の使い <p>(3) 衣食住</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な住居→コンクリートの建物の増加 	<p>1 人々の生活と環境</p> <p>(1) 寒帯の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イヌイット …カリブー(となかひ)やあざらしは食べるだけではなく, 毛皮は衣類やテントなどをつくる時に使われた。また, 油は燃料などにも使われた。 <p>(2) 冷帯(亜寒帯)の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷帯の気候は, 南半球では, 高い山以外では見られない。 ・シベリアには一年を通してこおったままの永久凍土があるが, 夏に気温が上がると解けることがある。また, 暖房などの熱で解けないようにシベリアの建物は高床になっているものが多い。 <p>(3) 温帯の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温と降水量のグラフ <ul style="list-style-type: none"> ●温帯(温暖)湿潤気候…北半球では気温と降水量が山型 ●西岸海洋性気候…1年を通して降水量がほぼ一定 ●地中海性気候…冬より夏の降水量が少ない ・西岸海洋性気候 …ヨーロッパ北西部など大陸西岸に見られる気候。ヨーロッパでは, 暖流の北大西洋海流の上を吹く偏西風の影響で, 同緯度の大陸東岸の地域と比べて冬は温暖な気候となっている。 ・季節風(モンスーン) …季節によって風向きが逆になる。日本では, 夏に南東, 冬に北西から吹く。 <p>(5) 乾燥帯の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オアシス…さばくのなかで地下水などの水が得られて植物が育つところ。 ・焼畑農業 …森林や草原を焼き払い灰を肥料として作物を栽培。数年たつと, 場所を移動して焼畑を行う。移動をくりかえすうちに焼畑を行った場所は再び草原や森林となる。 <p>(6) 高地の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温は高度が100m上がるごとに約0.6度下がるので, 同じ緯度でも, 高度によって気候が異なり, 一年じゅう春のような気候のところもあれば, 寒くて樹木が育たないところもある。 ・リヤマはおもに荷物の運搬に用いられ, 肉は食用となる。アルパカの毛は衣類などに利用される。 <p>2 人々の生活と宗教</p> <p>(1) 世界の三大宗教</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教 …インドでおこりアジアを中心に広まった。 ・キリスト教 …ローマ帝国に支配されていたパレスチナに生まれたイエスの教えを弟子たちがまとめたものが聖書で, キリスト教はのちにローマ帝国の国教となった。 ・イスラム教 …1日5回聖地のメッカに向かって礼拝。金曜日にモスクでいのりをささげる。イスラム暦の9月(ラマダン)に日の出から日没まで断食。豚肉, 酒は禁止

3

文明のおこりと日本の成り立ち

◆指導ページ P.14 ~ 19◆

【指導のねらい】

- ★各文明の特徴を理解させる。
- ★日本の成り立ちを大陸との関係を合わせて理解させる。
- ★大和政権と大陸との関係、古墳文化について理解させる。

学 習 内 容	補足知識・留意事項など
<p>1 文明のおこり⇒演習 1</p> <p>(1) 人類のおこり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猿人…直立歩行, 道具の使用 ・原人…火の使用, 言葉の使用 ・新人…ホモ・サピエンス(現在の人類の直接の祖先) <p>(2) 道具の発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧石器時代…打製石器, 狩りや採集 ・新石器時代…磨製石器・土器, 農耕や牧畜 <p>(3) 古代文明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エジプト文明…ナイル川, 象形文字, ピラミッド, 太陽暦 ・メソポタミア文明…チグリス川・ユーフラテス川, くさび形文字, ハムラビ法典, 太陰暦 ・インダス文明…インダス川, モヘンジョ・ダロの都市遺跡 ・ギリシャ・ローマの文明…ギリシャで都市国家(ポリス)→民主政治, 地中海一帯にローマ帝国 ・中国文明 <ul style="list-style-type: none"> ●殷…黄河流域, 青銅器, 甲骨文字 ●周…鉄製農具, 春秋・戦国時代に孔子が儒教 ●秦…始皇帝, 兵馬俑, 万里の長城 ●漢…シルクロード(絹の道)を通してローマ帝国と交易 <p>(4) 宗教のおこり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教…紀元前5世紀ごろにインドのシャカ(釈迦)が開く ・キリスト教…紀元前後にパレスチナのイエスが説く ・イスラム教…7世紀にメッカのムハンマドが始める <p>2 日本の成り立ち⇒演習 2</p> <p>(1) 旧石器時代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1万年前まで, 大陸と陸続き ・生活…狩りや採集, 打製石器, 岩宿遺跡(群馬県) <p>(2) 縄文時代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約1万年前～, 日本列島ができる ・道具…磨製石器, 縄文土器 ・生活…狩りや採集, たて穴住居, 貝塚, 土偶 三内丸山遺跡(青森県) <p>(3) 弥生時代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀元前4世紀～ ・道具…青銅器・鉄器, 弥生土器 ・生活…稲作の開始, 高床(の)倉庫, 吉野ヶ里遺跡(佐賀県) ・むらから国へ…定住, むらを形成→貧富の差・身分の差→むらに支配者→小国の成立 ・小国の分立 <ul style="list-style-type: none"> ●1世紀半ば…倭の奴国の王が漢に使い→金印(「後漢書」) ●3世紀…邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使い(「魏志」倭人伝) <p>(4) 大和政権(ヤマト王権)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大王を中心とした豪族の連合政権 ・古墳文化…前方後円墳, 埴輪や副葬品 ・大陸との関係… <ul style="list-style-type: none"> ●朝鮮…百済と結び, 高句麗・新羅と戦う ●中国…大和政権の大王→南朝に使い ・大陸文化の伝来…中国や朝鮮半島から渡来人。漢字・仏教, 儒教・技術などの伝来 	<p>1 文明のおこり</p> <p>(2) 道具の発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界では, 旧石器時代→新石器時代→青銅器時代→鉄器時代となるが, 日本では, 青銅器と鉄器が同時期(弥生時代)に伝わった。 <p>(3) 古代文明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エジプト文明 <ul style="list-style-type: none"> …ナイル川は定期的に氾濫をおこしたため, 上流から肥えた土が運ばれてきた。また, 氾濫の時期を知るために天文学や測量術が発達した。 ・メソポタミア文明 <ul style="list-style-type: none"> …ハンムラビ法典は現存する世界最古の法典で, くさび形文字で記されている。 ・インダス文明 <ul style="list-style-type: none"> …モヘンジョ・ダロは, 代表的な遺跡で, 都市計画にもとづき, 道路や上下水道, 浴場などがつくられていた。 ・中国文明 <ul style="list-style-type: none"> ●シルクロード(絹の道) <ul style="list-style-type: none"> …ローマ帝国と漢は, 中央アジアの砂漠のオアシスを結ぶシルクロードを通して交易を行っていた。ローマ帝国では, ギリシャやオリエントの文化を取り入れ, 水道など実用的な文化が発達していた。 <p>(4) 宗教のおこり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教 <ul style="list-style-type: none"> …ローマ帝国に支配されていたパレスチナに生まれたイエスの教えを弟子たちがまとめたものが聖書で, キリスト教はのちにローマ帝国の国教となった。 <p>2 日本の成り立ち</p> <p>(1) 旧石器時代</p> <ul style="list-style-type: none"> …岩宿遺跡は, 1949年に相沢忠洋が赤土の地層(関東ローム層)から打製石器を発見したことがきっかけとなり発掘された。日本にも旧石器時代があったことを示す遺跡。 <p>(2) 縄文時代</p> <ul style="list-style-type: none"> …約1万年前に氷河時代が終わると海面が上昇し, 日本列島は大陸から離れてほぼ現在の形となった。この時代の人々はおもに動物の狩りや木の果の採集などを行って暮らし, 人々の間に貧富の差はなかったと考えられている。 <p>(3) 弥生時代</p> <ul style="list-style-type: none"> …大陸から稲作が伝わったことにより生活が変化した。稲作が広まると人々は定住するようになり, むらがつくられた。富をもつ者ともたざる者との間に身分の差が生まれ, やがて, 有力なむらがまわりのむらを従えて国をつくるようになった。 <p>(4) 大和政権(ヤマト王権)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大陸との関係 <ul style="list-style-type: none"> …高句麗の都の跡に残っている好太王(広開土王)の碑には, 4世紀末に倭の軍隊を撃退したことが書かれている。また, 5世紀には, 倭の王が5代にわたり, 中国の南朝に使いを送ったことが中国の歴史書に記されている。こうした動きは, 中国の皇帝の権威を借りて, 朝鮮半島の国々に対して優位に立とうという目的があったと考えられている。

【指導のねらい】

- ★聖徳太子の政治，天皇中心の国づくりを理解させる。
- ★奈良時代の政治，文化を理解させる。

学 習 内 容	補足知識・留意事項など
<p>1 飛鳥時代と律令国家の成立⇒演習 1</p> <p>(1) 聖徳太子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十七条の憲法…役人の心得 ・冠位十二階…能力のある人物を役人に取り立てる ・遣隋使…小野妹子，進んだ文化や制度を取り入れる <p>(2) 大化の改新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中大兄皇子・中臣鎌足ら→蘇我氏打倒，公地公民 <p>(3) 白村江の戦い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百済を助けるために朝鮮に大軍→新羅・唐連合軍に敗れる <p>(4) 壬申の乱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天智天皇の死後，皇位争い→天武天皇即位 <p>(5) 律令国家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宝律令(701年)，中央に二官八省，地方に国・郡・里 <p>(6) 飛鳥文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子が法隆寺を建立 <p>2 奈良時代⇒演習 2</p> <p>(1) 平城京…710年，唐の都長安にならう</p> <p>(2) 農民の負担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班田収授(の)法…6歳以上の男女に口分田 ・税…租(稲)，調(特産物)，庸(布) ・兵役…都に衛士，九州に防人 <p>(3) 聖武天皇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都に東大寺，国ごとに国分寺・国分尼寺 <p>(4) 墾田永年私財法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・743年，新たに開墾した土地の永久私有を認める→私有地(荘園)の発生 <p>(5) 天平文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築…東大寺正倉院 ・文学…万葉集(和歌集)，古事記・日本書紀(歴史書) 風土記(地理書) 	<p>1 飛鳥時代と律令国家の成立</p> <p>(1) 聖徳太子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冠位十二階 …役人の位として，徳・仁・礼・義・智をそれぞれ大小に分け12の位をつくり，冠の色で区別し，個人の能力や功績に応じて位を授けた。 ・遣隋使 …隋の制度や文化を学ぶほか，隋と対等な国交を結ぶという目的があった。小野妹子は国書を持って隋にわたり，翌年，留学生とともに再び隋にわたった。 <p>(2) 大化の改新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子の死後，蘇我氏が独裁的な政治を行っていたことから，中大兄皇子・中臣鎌足らが蘇我蝦夷・入鹿をたおし，改革を始めた。この改革では，それまで豪族がもっていた土地や人民を国が直接支配するとした。 <p>(6) 飛鳥文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法隆寺は現存する世界最古の木造建築。 <p>2 奈良時代</p> <p>(2) 農民の負担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班田収授法…6年ごとにつくられる戸籍にもとづいて，良民の男子には2段，良民の女子にはその3分の2，奴婢には良民の男女のそれぞれ3分の1の口分田があたえられた。口分田は死ぬと国に返させた。 <p>(3) 聖武天皇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教の力で国を守ろうと，国ごとに国分寺・国分尼寺を建てた。また，都には総国分寺として東大寺を建て，本尊として大仏をつくらせた。東大寺の正倉院には聖武天皇の遺品などがおさめられている。